

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」
～発信力・行動力を身につけ、
自己肯定感を得られる生徒の育成～



自分を信じて



他府県の私立高校など、既に入学試験が終わり、発表のあった学校もありますが、京都では、2月10日の私立高校入試を皮切りに、公立高校の前期選抜、3月の中期・後期選抜までと、長丁場の2ヶ月となります。3年生のみなさんは、緊張や不安を感じているかもしれませんね。でも、やることは一つです。

自分を信じ、粘り強く学習に取り組むことです。まず、大切なのは授業。1日6時間ある学校の授業を大切にしましょう。一人で6時間の勉強はたいへんですが、今まで学校生活を送っていた先生や仲間と一緒に頑張れるはずです。3年間、共に過ごしてきた仲間との1時間1時間、一日一日を大切にしてほしいのです。



素直な心

「感謝の心が幸福の呼び水なら、素直な心は進歩の親。」以前読んだ著書に「素直な心」をこのように表現してありました。自分にとって耳の痛い話も、まっすぐな気持ちで聴き、改めることは明日といわず、今日からすぐに改める。そんな「素直な心」が、私たちの能力を伸ばし、自分の成長（自分磨き）につながるということです。もちろん、「素直」とは右を向きなさいと言われたらただ右を向く、そういうことではありません。素直な心とは、自らの至らなさを認め、そこから惜しまず努力する謙虚な姿勢のことです。人の意見をよく聞く大きな耳、自分自身を見つめる真摯な目、それらを常に自分の中に備え、絶えず働かせるということです。自分にとって耳の痛い言葉こそ、本当は自分を伸ばしてくれるものであると受け止めることが大切です。

自分一人の考えでは誤った判断をしたり、重要なことに気づかないこともあります。それを自覚し、他の人の意見を謙虚に受け入れることが自分の成長に繋がります。すべてを受け入れるということではなく、いつでも、どこでも、誰からでも学ぼうとする気持ちで接することが大切です。そうすれば、謙虚な心を持ち続けることができます。異なる意見が出た場合には、まず「意見を言ってくれて、ありがとう」という感謝の気持ちで受け入れ、よいことはよいと認識できる心の柔らかさを持つということです。スポーツも勉強も人間関係も、「素直な心」をもって為せば、なりたい自分に成長でき、自分もまわりの人々もきっと幸せを感じることができると思います。「素直な心」を大切にしたい。

<2月の主な予定>

- 10日～ 京阪神「私立高校入試」
- 16日～ 公立前期選抜 学力検査等
- 22日 「R3 修学旅行」保護者説明会
- 24日 公立前期選抜発表
- 24日～ 学年末テスト（1・2年）